

## 第 1731 回例会報告

令和4年3月17日(木)曇り

### 会長挨拶

## 3月はロータリーの 「水と衛生月間」です！

会長 小口直久

地球は「水の惑星」とも呼ばれていますが、地球の表面の 3 分の 2 は水で覆われていて、およそ 14 億立方キロメートルの水があるといわれています。しかし、そのうちの 97.5%は海水であり、淡水はわずか 2.5%しかありません。しかも、この淡水の大部分は南極や北極地域などの氷や氷河として凍っており、凍っていない水は地下水として存在しているため、人間が容易に使える水は全体のわずか 0.01%(10 万立方キロメートル)にしか過ぎません。

日本人の私たちにとって水は、水道の蛇口をひねれば直ぐに使用できる、ごく当たり前のインフラです。そして毎朝の習慣に欠くことのできないものです。朝、起きてトイレに行き、顔を洗って歯を磨きます。キッチンへ行き、やかんやポットに水を入れ、コーヒーやお茶を入れるための湯を沸かします。また夜には、一日の疲れを癒すためにお風呂に入ります。毎日のこの生活にも、すべて私たちは水の恩恵を受けています。しかし、世界の中には、こうした習慣とは無縁の地域が数多く存在しています。きれいな水、トイレ、衛生設備がない日常を送っているのです。国際ロータリーの資料によると、世界には十分な衛生施設を利用できない人々が、25 億人以上います。また、汚染された水で下痢疾患を患い、命を落とす子どもたちが毎日 3000 人いるといわれています。国際ロータリーは、「水と衛生」に対して、地域社会が長期的に水を確保し衛生施設を維持できるよう支援するほか、水と衛生に関連する研究支援・人材育成にも力を入れています。きれいな

水は、人間の基本的ニーズの一つで、特に子供たちがより健康で、実りある生活を送ることを可能にします。また、国際ロータリーは、井戸を掘ったり、雨水貯蔵システムを設置したりするだけでなく、それらの設備を維持する方法を地域の人たちに教えてきました。飲み水が無いために亡くなる人は少ない一方、汚染された水を飲むことによって病気にかかる人は数百万人に上るため、発展途上で衛生設備の整備にも取り組んでいます。下水や汚水タンクとつながった水洗トイレを提供すると同時に、手洗いやその他の衛生習慣を推進しています。

さて日本では水不足を日常的に感じることはあまりありませんが、世界の水問題は我々にとって無縁ではありません。仮に世界の水問題が深刻化すれば、海外において十分な食物を生産することができず、日本は必要とする量の食料を輸入することができなくなります。その日本でも、未だに記憶に残る東日本大震災では、水不足に陥りました。震災後のアンケートで、被災者が困ったこととしてあげた中で一番多かったのは「水・食料が入手しにくい」で 24.4%でした。安全な飲料水の確保が困難であり、簡易トイレが衛生的に利用できない点でした。次いで 2 番目は、「ガソリン・灯油が入手しにくい・入手できない」で 19.9%でした。自然災害の多いわが国では、水の問題は決して他人事ではありません。



日は中継会場からのご挨拶でした

そして、世界に目を向けますと、きれいな飲み水が利用できない人は、7 億4,800 万人います。またアフリカの辺境地に住む女性たちの中には、毎日6 時間かけて水を汲みに行かねばならない人も



2021-2022 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「温故知新」

います。国際ロータリーでは、誰もが安心して飲める衛生的な水を世界の人が手にできるという目標を、2030年までに行うことを掲げています。

最後になりますが、3月22日は「世界水の日」です。水資源の保全と開発について理解と関心を深めるための日です。身近なところでは、炊事や入浴時のシャワーの際に、つつい無駄にしがちな水ですが、節水を含めて水の重要性について改め



本日の参加はZOOM15名会場7名でした



◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)4月例会予定

日	回	内容	担当
7	木	休会	
9	土 1733	大津中央RC交流会 <b>中止</b>	会長・幹事(クラブ奉仕委員会)
14	木 1734	地区大会連絡調整会議	地区大会実行員会
21	木 1735	2クラブ合同例会 <b>中止</b>	会長・幹事(クラブ奉仕委員会)
28	木	休会	
30	土 1736	里山整備 <b>中止</b>	社会奉仕・青少年奉仕委員会

例会について詳細検討がなされましたが、大津中央RCとの交流(御柱見学)2クラブ合同例会、里山整備がコロナ感染レベルの拡大を受けいずれも中止になりました

2)御柱実行委員会から 御柱観覧席のお土産用に用意されたワカサギと諏訪湖豆の購入依頼があり承諾されました。

半分は大津中央RCに送付し、半分は諏訪湖クラブに配布することにしました

3)米山奨学生のホームクラブ引き受けについて

引き受けることを承認しました。期間は、令和4年4月1日～令和5年3月31日までです。カウンセラーには小口直久会長に就任していただくことになりました

4)ヒシ取り船の購入に諏訪湖浄化基金を充てることについて

森山会員より詳細なデータの提示がありました。継続可能な事業となるか、他団体を巻き込めるか、現実の船を見たいなどの意見が出て継続審議となりました。

【受領文書】

1)信州豊かな環境づくり県民会議の会報「たまき」第99号が届きました。御覧になりたい方は事務局までご連絡ください

2)財団ニュースが届きました。御覧になりたい方は事務局までご連絡ください

第1731回例会

『いよいよ御柱！！』

有賀 守氏

担当 クラブ会報・雑誌広報委員会

本日は下諏訪町第3区区長であり、下諏訪町区長会会長そして御柱秋1の曳行長の要職についていられます有賀守様に「いよいよ御柱」と題したお話をさせていただきました



新型コロナウイルスの感染拡大により今までに経験したことがない「御柱」になるとお話されました。

例えば山出しは人によらない自動車による運搬の上、参加者制限が強めにかかっている。里曳きも、参加できる人は大変少なくなっており参加するためには事前登録が必要などです。それでも伝統をつないでいくことが大切と話されました

ZOOMの録画が不調で卓話内容を再現できなかったことをお詫び申し上げます